

常連客各々の近況報告および「今日のテーマ：お国自慢お酒とおつまみ」の内容

・遠藤さんは、いきなりコロナに家族全員がかかった話から始まりました。すべて自宅での療養となったようですが、コロナで一番困ったのは、「トイレットペーパー」の買い置きがなかったことのようにです。食べ物は買い置きがあったようですが、トイレットペーパーは外に買い物にも行けず、近くのスーパーをお願いして、ドア前に置いていってもらったようです。コロナになってつらかったのは、咳が一晩中続いたことと、喉の痛みが強かったようです。ワクチンのおかげで熱はあまり出なかったようです。後遺症もないようです。

お酒は、成田山新勝寺の「長命泉」とおつまみかな「酒まんじゅう」を紹介してくれました。

★この話をきいて、武田さんと古川さんが自分もコロナにかかったとの話がありました。

◆古川さんは、かかったまま 1 日会社に行かれてそうです。そのために、かなり離れた場所にいた社員の方にコロナをうつした犯人と言われましたが、疑問符がついてます。

特に困ることもなく、食事も日用品も買い置きで乗り切ることができたようです。

◆武田さんは、中学校のおやし会があり、その忘年会に参加したところ、7 名から 8 名が皆コロナにかかったとのことです。有給休暇を 7 日採るのが大変だったようです。

お二人も特に後遺症は残っていないようです。

・中根さんは、神奈川には地酒は少ないとの話で、ご自分が気に入っているお酒の紹介がありました。名前は「樽酒」（兵庫県東灘：菊正宗酒造）で、檜の香りがするので好きで呑んでます。お酒はぐい飲みが良いと思い、新しく調達したところです。（古川さんに影響を受けたようです。）最近の飲み屋は、注文がタッチパネル方式になっているので、味気ないと苦言を呈している。

・古川さんは、呑んでいるのは日本酒とのこと。出身の長崎には、甘いお酒しかなく紹介するものはないが、吉岐の島には麦焼酎発祥地と名打った、麦焼酎が出ている。今日は「海鴉」を準備されていました。

・檜垣さんは、「昨日節分で豆をもらって、豆にやっている」との、親父ギャグから入りましたが、あまり受けはなかったようです。（残念）奈良には 1 月 23 日「笹酒」が大安寺で行なわれた。これは健康祈願と癌封じのために行なわれる行事です。笹竹に入っているお酒を、竹のおちょこについてももらって呑むと、健康でいられたり、癌から守ってくれるといういわれがあるようです。

奈良のお酒は「黒松貴仙寿」「春鹿」があると紹介されました。

近況報告では、義理のお嫁さんが看護師なので、コロナに対してかからないように、常にうるさく言われている。「マスクは二重に、うがい、手洗い、洗顔などなど」そのおかげでコロナにかかっていないのかも知れないようです。

・奥さんは、病気をしていた知り合いがゆで卵を食べる療法で健康になった話を聞いて、実践している話をしました。ゆで卵を 1 日「31 個」食べないといけないようです。その他は繊維質のものをゼリーで補うようですが、どうなることやら・・・。（陰の声：人それぞれ体質が異なることを念頭に置いておいて下さいよ。）

お酒は日本にいたとき、福島県の「奥の松」が美味しかったので、日本に帰ったときには弟さんに頼んで買ってきてもらっている。

・武田さんは、1月にJR東日本4日間乗り放題の切符を買って、旅をした話でした。今回の目的は、「福島県の只見線に乗ることでした」。最初に新潟のバスセンター（万代橋の近く）に、美味しいカレー店があると聞いて食べに行った。「大盛りを頼んだらやはり凄かった。かなり無理をして食べた」。次に時間があつたので近くの日帰り温泉を紹介してもらったら、温泉まで1.6Km（30分近く）を雪降る中歩いていった。（バスはなし）温泉に入り気持ちよくなったが、帰りがまた雪の中をと思うと、テンションが下がるので温泉に車で来ていた人に声をかけて、駅まで送ってもらった。その後只見線に乗った。1日3本しかなく、始発から終点まで5時間かかる。（陰の声：冬は雪の多い路線で場所によっては、4メートルほどになり、家には2階から出入りするようです。）

お酒は呑まないが、山形には高木酒造の「14代」がある。また、「出羽桜」もあると紹介されました。

・中村さんは、佐賀県出身で3万人の市に、酒蔵が6箇所あり3月末には「蔵祭り」が行なわれ、「呑み銭800円」支払うと、すべて飲み（ぐい飲み）放題となる。銘柄は「鍋島」が有名です。名産品は「のり」と「玉ねぎ」です。どちらも1位と言ってるが、（玉ねぎは北海道産を除くとの条件付き）です。玉ねぎに赤貝の缶詰を混ぜるとお酒のおつまみには最高の一品ができるので、是非実施して見てくださいとのこと。

中村さん本人については、今年80歳になるのでそれを基準に、100寺社参りに挑戦することにしよう。まず近くから一つ攻略したいと思い、行ってきました。（陰の声：達成出来た時が丁度100歳になったときでしょうね。頑張ってください）

・古江さんは、吉岐が麦焼酎発祥地と言われていますが、大分が麦焼酎日本一です。と大分のお酒をPRしていました。

先ほどのコロナ感染では静かにしていた古江さんでしたが、本人から「昨年家族全員がコロナにかかった」と公表されました。奥様が最初にかかったようです。古江さんは熱が38℃あったようです。そのためか、奥さんと二人は病院に入院されて治療を受けたようです。その他はホテルに入り治療を受けたいようですので、特に困ることはなかったようです。（食事はすべて支給されたようです）

・林さんは、大学の後輩が癌になり何か出来ないかと考えたところ、「PHP誌」を贈ってやろうと思い、直ぐに申込みを行なった。プラス思考の冊子なので、元気づけに少しでもなればと期待している。

お酒は出身地の諏訪市の酒蔵の紹介があつた。人口5万人足らずの市に5蔵あり、春と秋に5蔵飲み比べ祭りがある。お薦めしたいのは「真澄」です。

また、おつまみは「ばさし」と「野沢菜」を紹介しました。野沢菜は知っている常連客が何人かいました。

・若佐さんは、山口県のお酒「五橋」が美味しいと、今呑まれている銘柄を紹介してくれました。

・芦部さんは、閉店間際に飛び込んできました。今日は立春この日に酒蔵から出荷されるお酒に「立春朝しぼり」があると紹介されました。このお酒は、娘さんが嫁いだ先の近くにある酒蔵とのこと。（開店時には届いておりませんでした、新酒が閉店後届いたと連絡が

ありました。)